

## 令和4年度茨城県男女共同参画審議会

### 1 日 時

令和4年9月28日（水）14時30分～16時00分

### 2 場 所

茨城県市町村会館2階 201会議室

### 3 出席委員（敬称略、五十音順）

秋山 謙（(株)常陽銀行 執行役員人事部長）  
阿部 重典（(株)茨城放送 代表取締役社長）  
有馬 慧（弁護士（有馬総合法律事務所））  
大澤 幸子（茨城プロダクション代表）  
長田 佳世（茨城県産婦人科医会副会長）  
西連寺 節子（茨城県女性団体連盟会長）  
志賀 正章（茨城県学校長会副会長）  
助川 千夏（臨床心理士、キャリアコンサルタント）  
清山 玲（茨城大学人文社会科学部教授）  
関 英之（茨城労働局雇用環境・均等室長）  
直井 雄一郎（CAMEO COFFEE COMPANY スタッフ）  
中島 美那子（茨城キリスト教大学文学部教授）  
横田 祥（(有)横田農場米粉加工部門部長）  
（計13名）

### 4 内 容

#### （1）開会

#### （2）あいさつ

#### （3）委員等紹介

#### （4）委員長・副委員長の選出

#### （5）議事

- ①茨城県男女共同参画基本計画（第4次）の概要及び進捗状況について
- ②茨城県男女共同参画基本計画（第4次）の目標指標の修正について

#### （6）報告事項

- ①ダイバーシティ推進センターの取り組み等について
- ②茨城県職員子育て応援・女性活躍推進プランについて
- ③農業分野での男女共同参画推進の歩みと現在の育成内容について
- ④その他

#### （7）閉会

### <配布資料>

資料1 茨城県男女共同参画基本計画（第4次）の概要及び進捗状況について

資料2 茨城県男女共同参画基本計画（第4次）の目標指標の修正等について

参考資料 茨城県男女共同参画基本計画（第4次）の関連施策一覧

報告資料1 ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」について

報告資料2 「茨城県職員子育て応援・女性活躍推進プラン」に基づく取組の実施状況等について

報告資料3 農業分野での男女共同参画推進の歩みと現在の育成内容について

## 5 結果

- ・開会にあたり、茨城県県民生活環境部 松崎次長が挨拶を行った。
- ・委員長に清山委員、副委員長に阿部委員が互選により選出された。
- ・議事について、事務局から説明を行った後、議論が行われた。主な意見は下記のとおり。  
なお、議事②茨城県男女共同参画基本計画（第4次）の目標指標の修正については、審議の結果、2項目の目標値の修正については承認、1項目の目標指標の変更は不承認（現状維持）となった。

### <主な意見> ※記載は発言順

- ・生涯を通じた健康支援、特に、性に関する知識を学ぶことは、女性だけではなく男性にとっても、生きていく中でつまづくことを予防したり、生活の満足度をあげることなどに大変大事なことだと思う。高等学校等に外部講師を招聘した講演会を実施するなど、今後も知識としてしっかり提供してほしい。
- ・待機児童の解消について、10月1日時点でも待機児童ゼロを達成できたら、国基準ではなく、より高いレベルの茨城県基準を設定できるとよい。
- ・子どもを産み育てやすい社会に関する指標は、国の指標ではなく、県民の満足度等が幅広く計れるような、より良い指標を選定するよう検討してほしい。
- ・子どもを預けることについて、お母さん方に罪悪感を持たせないような社会になるよう、待機児童問題や保育制度についてはもっと深堀してほしい。
- ・所定外労働時間について、残業時間が長いという茨城県の特殊性がある。県は、民間企業に対して啓発する、推進するという役割があることから、積極的に取り組んでいただきたい。
- ・男女共同参画は、学校教育の段階から、いかに子供たちにその意識を持たせるか、というところが大切。ダイバーシティ普及啓発コンテンツのような、オンラインなどを通じた啓発のアプリなど、手軽にできるものが増えるといい。
- ・農業分野における女性の活躍は目覚ましいと感じるが、現在の指標ではそれが見えない。女性の活躍がよく見えるような指標を設定してほしい。
- ・育児介護休業法改正など、女性が働きやすい制度が整備された。先進的な取組を行っている女性活躍優良企業の認定制度があり、茨城労働局では周知や認定企業の拡大に取り組んでいる。
- ・「ぼらりす」の活動を知らなかった。すごくいい活動をされていると思うので、もっと広く周知活動をしてもらいたい。
- ・ダイバーシティについて、準備中の小中学生に興味をもってもらえるような取組・事業がどのようなものか、楽しみにしている。
- ・男性であるだけで、店舗の代表者（経営者）と思われたり、育休を取得したことについて「なぜ取得したのか？」と質問を受けることが度々ある。このようなアンコンシャス・バイアスのない茨城県になってほしい。
- ・女性の登用など、茨城県も状況はよくなってきていると思う。民間に波及していくことなので、行政でしっかりと進めてほしい。
- ・ダイバーシティの進捗の「見える化」はいいことだと思う。数値化できると、より分かりやすく、取り組みやすくなる。